



くしろ「木づな」プロジェクト

[平成 27 年度事業報告・平成 28 年度事業計画]

要旨

釧路森林資源活用円卓会議は平成 26 年度で発足から 5 年目の節目を迎え「第 1 期」として総括しました。
平成 27 年度以降は「第 2 期」として「第 1 期」の実績をもとに新たな視点で展開しています。

目次

要旨	2
平成 27 年度事業報告	3
平成 28 年度事業計画（案）	5
○民間建築物への活用促進の取組	6
○（仮称）林業担い手発掘事業	7
○（仮称）「森林から都市へ～釧路生まれの樹木の旅～」講演会	8

釧路森林資源活用円卓会議について

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。人口 10 万人、森林面積 10 万 ha を超えるのは全国で 3 市のみと、まさに釧路市は「森林都市」（森林率 74%）と言えます。

この「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を H22.11 設置(川上部会 H22.12、川下部会 H23.2)しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

平成 27 年度事業報告

平成 27 年度の活動状況は次のとおりです。

<もっと知る>

木造住宅講演会	住宅等への需要拡大を目指し、製材業・設計業、それぞれの立場から見た木造住宅についての講演会を実施
---------	--

<もっと使う>

公共建築物	釧路市役所防災庁舎内装、阿寒湖畔教職員住宅
民間建築物	木造住宅講演会（再掲）による普及活動 など くしろ・ねむろ「木づな」の家（地域型住宅グリーン化事業） 「店舗・事務所等における地域材利用検討委員会」に参加 →冊子「道産木材 vol.3」にくしろ木づなプロジェクトの特集掲載
商品開発	<p>【試作・検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くしろの地域資源を活用した木製品開発」（技術 C） ・小学校向け児童机・椅子の改良 <p>【商品化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな木の家キット ・ネームホルダー ・ままごとハウス・キッチン・木の玉プールほか（釧路短大との連携） ・会議室用かぶせ天板 <p>【受賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌ベニヤ製複合フローリング「鶴ハード」の北海道新技術・新製品開発賞受賞

<もっと伝える>

<p>研修会の開催</p>	<p>7/18 弟子屈町でカラマツ住宅の構造見学会を開催 9/24 弟子屈町でカラマツ住宅の完成見学会を開催 12/1 阿寒湖畔教職員住宅構造見学会 9月～11月 北海道木育マイスター研修</p>
<p>域内利用の取組</p>	<p>4/17 釧路短大木育教室 6/27 子どもチャレンジ（まなぼっと） 7/4 大楽毛よしの幼稚園木育教室 7/7 市立東雲小学校木育講座 8/17 地産地消バスツアー（丸善木材釧路工場） 10/31 釧路安心住まいフェア（こども遊学館） 11/7_8 2015 木育・森づくりフェア（イオン釧路店） 1/17 釧路短大 KJC ランド木育教室 1/22_2/9 釧路市内小学校での木育教室（森林室：計3回） など</p> <p>イトーヨーカドー釧路店において釧路産木製品の展示 5年間の活動冊子発行→小冊子「くしろの木製品」</p>
<p>域外利用の取組</p>	<p>域外での展示 →7/21～8/30 根室&釧路いいところフェア at 札幌市 →11月 ビジネス EXPO（札幌市）への出展 常設展示（継続） 管外：道庁本庁舎 1F（学習机、イーゼル） 5年間の活動冊子発行→小冊子「くしろの木製品」（再掲）</p>

平成 28 年度事業計画（案）

平成 28 年度は次のような活動を実施予定です。

<もっと知る>

より効率的かつ低コストな施業モデルに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採～搬出・運搬～利用を効率的に行うための課題抽出。 ・国有林、道有林、一般民有林との情報交換により、釧路地域に適合した施業方法や作業道作設の形を探る。
-----------------------	--

<もっと使う>

公共建築物	<ul style="list-style-type: none"> ・観光立国 SC において提案される事業で活用につながる見込みがあるものについて、くしろ木づなプロジェクトとして提案。
民間建築物	<ul style="list-style-type: none"> （継続）くしろ・ねむろ「木づな」の家（地域型住宅グリーン化事業） （継続）民間建築物への活用促進の取組【別紙 1】
商品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・「くしろ木づなプロジェクト商品開発の事業戦略」で開発した品目（ジャンル）からの絞り込み ・事業相談の受付から製品化の支援

<もっと伝える>

研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会、シンポジウムを年 4 回程度実施 → （仮称）林業担い手発掘事業【別紙 2】 → （仮称）「森林から都市へ～釧路生まれの樹木の旅～」講演会 <u>3</u> 【別紙 3】
域内利用の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加、展示会開催 ・常設展示 イトーヨーカ堂釧路店 3F で継続実施中（3ヶ月更新） ・市内複数ジャンル企業への営業、開発製品製作者の掘り起こし
域外利用の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「マルシェくしろ」「阿寒マルシェ」等、観光客の来店が見込まれる箇所でのテスト販売 ・各種展示会等への出展

【別紙 1】

○民間建築物への活用促進の取組

[1] 新築・リノベーションを考えている個人・事業所向けの対応として、木づなプロジェクト FB や市 HP 上で次の取組を実施する。

木造建築物等の事例紹介

「くしろの木製品」にも掲載した木造建築物や内装の木質化事例を紹介し、存在を知ってもらうとともに、アンケートフォームを作成し、意見や疑問点を直接書き込めるようにする。また、結果をページ内にフィードバックする。

⇒今後の木づなプロジェクトの取組につなげるほか、木づなメンバーへの「気づき」を誘発。

[2] 地域材の木造住宅への普及を進めるため、円卓会議関係者による一般市民向けの講演会を実施。対象はこれから家を建てる若い世代から、建て替え・リフォームを検討する中・高齢世代までとし、参加への利便性を上げるため土曜日の開催とする。

- ・ 造林・造材～林業家からみた木造住宅
- ・ 製材業者から見た木造住宅
- ・ 設計士から見た木造住宅
- ・ 建築業者から見た木造住宅
- ・ ○○○から見た木造住宅

講師や内容についてはくしろ・ねむろ「木づな」の家プロジェクトと協力し、検討を進める。

内容はあえて地域材やカラマツにとらわれず、講師の経験や知見をもとに自由な組立てを目指す。

最終的に参加者が思い描く木造住宅の中に地域材の利用がいくばくかでも入っていることを目指す。

※「森林から都市へ～釧路生まれの樹木の旅～」講演会【別紙 3】

【別紙 2】

○（仮称）林業担い手発掘事業

次代の担い手になり得る若年層を対象に、林業・林産業の魅力を伝えるため、次の取組を行う。

①林業施業現場～木材加工場見学バスツアー

木づなメンバーや森林組合等、森林整備事業を実施している事業者に協力していただき、現場見学を実施。

⇒作業内容：（川上）除間伐・枝打ち、主伐（集材・玉伐・枝払い）、運材
（川下）剥皮、仕分け～製材、集成材、プレカット 等

②カラマツ植樹体験（9月中旬～11月上旬）

市有林において、主伐後の再造林作業を体験し、森林資源の循環利用の原点を伝える。

パターン[1]

円卓会議事業費として苗木代を拠出し、植栽作業を高校生等の若年層に体験してもらう。

（秋のカラマツ苗木供給可能量確認必要。H28 市有林植栽計画地があればそこで実施検討。）

パターン[2]

道森林整備課の造林推進グループ所管で、H26 からコンテナ苗植栽に係る功程調査を実施。苗木生産者に余剰苗があれば、事業申請し、苗木の供給を受け植栽することが可能。平均的に、試験地では「0.2ha で 500 本植栽」を実施している。

（苗木供給元：人工林資源保続支援基金（北海道森林組合連合会所管））

コンテナ苗の植栽功程調査に係る器具は通常のクワ以外で 4 種類あり、通常のクワも使用。

＜問題点＞

※功程調査なので、素人が体験でやるのは NG と言われる可能性もあるが、規定の調査箇所は確保されているため、逆に素人だとのくらいの功程がかかるのかを知ることも出来ることを道へ提案。

また、功程調査実施地の周りで一体的に植栽を行う箇所がある場合、植栽体験は「周辺」で実施、という方法も可能。

※振興局林務課の森林整備係が、活着調査等を実施することになるので、勝手に申請することはできない。

【別紙 3】

○（仮称）「森林から都市へ～釧路生まれの樹木の旅～」講演会

地域の森林への関心を深め、そこから生産される木材の使われ方を紹介するため、円卓会議関係者による一般市民向けの講演会を実施。

川上：森林施業の仕事（川上部会）

川中：製材所の仕事（川下部会／製材所）

川下：工務店の仕事（川下部会／工務店・設計事務所）

講師や内容については円卓会議各部会員と協力し、検討を進める。

内容は、釧路の森林（ヤマ）でどのように丸太が生産され、工場（マチ）でどのように製材され、暮らし（イエ）にどのように使われていくのかをストーリー仕立てで見せられるように調整。
